

近現代史ゼミ【第4期、第24回】2020年1月25日の報告

日本社会はどこに向かうのか (内藤真治講師)

昨年11月のゼミで「韓国や香港の若者に比べて日本の若者はどうして怒らないのか」との質問が出されました。今回はそれに対応する内容にもなっています。丁度、1月1日の東京新聞「本音のコラム」で斎藤美奈子氏が、2018年の内閣府の調査をもとに、日本の若者は自己肯定感が低い、それは政治や社会への無関心さとも連動している、と述べています。その内閣府の調査の一部を紹介します。

❖『令和元年版 子供・若者白書』(内閣府) - 調査時期 平成30年11月～12月  
特集「日本の若者意識の現状～国際比較から見えてくるもの」

① [自分自身に満足しているか]

	日本	韓国	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
そう思う	10.4%	36.3	57.9	42.0	33.0	42.3	30.8
どちらかといえ ばそう思う	34.7%	37.2	29.1	38.1	48.8	43.5	43.3

②【今の政治にどのくらい関心があるか】

	日本	韓国	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
非常に関心あり	12.2%	15.2	32.8	21.7	25.7	21.4	21.9
どちらかといえ ば関心あり	31.3%	38.6	32.1	37.2	44.9	36.1	35.2

確かに日本の若者は外国と比較して自己肯定感が低く政治への関心も低い。5年前の調査でもほぼ同様の結果が出ていますから、この年だけの一時的な数値ではありません。「自己肯定感」は「学習意欲」、さらに「生きる意欲」とも繋がっていますから、学校教育に携わる者にとっても深刻な問題です。今回は内藤講師が検討材料を提示し、参加者と一緒に考えるという構成で、正解や結論を求めるということではありませんでした。

1、NHK放送文化  
研究所編  
『現代日本の意識  
構造』  
〔第八版〕2015・2・  
25 発行)



○政治的有効性  
感覚

(投票・デモ・世論などが政治にどの程度  
の影響があると思うか。)

❖調査開始の73年から低下の傾向は続いている。  
つまり、有効だと思っていない。

○活動

(この1年間にデモ、署名、投書、集会、  
機関紙購読などを行ったことがあるか)

❖「投書」以外はすべて減少傾向、逆に「何もし  
なかった」が増加傾向。

2、田辺俊介編著  
『日本人は右傾化し  
たのか』(2019・9・20  
勁草書房)

若者世代の特徴は「右  
傾化なき保守化」、価値観  
が右方向へ傾斜している



わけではなく、単に、権威あるものに従ったほうがよいという従属的な性格。

### 3、小熊英二『日本社会の仕組み』 (2019・7 講談社現代新書)

「日本社会を構成する原理」

- ①学歴（学校名）が重要
- ②年齢や勤続年数（同一企業で）が重要
- ③都市部にある学校・企業が重要
- ④男性優位



### 4、TBS「サンデーモーニング」 (2020・1・5 放送)

特集「幸せになれない時代 ～分断と格差深まる世界～」から

#### 【番組の中での注目点】

#### ㊤新自由主義の登場

1980年代、世界は東西冷戦が終結に向かうと同時に、資本主義国に新自由主義が登場。自由化、規制緩和、民営化などが行われ、勝ち組と負け組がはっきりした。トリクルダウン効果が主張されたが、現実にはその効果はなく中間層も貧困化、格差が拡大した。国際NGO オックスファムの報告書によると、世界で最も裕福な26人が、世界人口のうち所得の低い半数に当たる38億人の総資産と同額の富を握っている。

#### ㊦加藤諦三氏（社会心理学者、早稲田大学名誉教授）の指摘—「幼児化する人々」

今の世界の混乱の本質的な要因は政治的、経済的要因だけでなく、もっと深い人間の心の問題にあると考える。つまり、世界の人々が今までの成長、成熟の流れから退行の流れ（幼児化）になり、歴史の逆行が始まっている。

#### 【番組コメンテーターの意見（要約）】

（寺島実郎氏）幼児化の対極にあるのが大人の知性、つまり全体知、断片的でない体系的な知性の上に物事を判断していくこと。今、多くの人が新聞もテレビも見なくなった。それに代わる

SNS情報は人間を断片化させていく。

（青木理氏）日本の社会は右傾化しているといわれるけれど、むしろ幼児化というほうが近いのではないか。私たちのひざ元で起きている政治や社会のあり様を見ても、「幼児化」というキーワードで解いてみると腑に落ちる。



#### 【会場での参加者の意見（要約）】

- 署名や宣伝活動をして「大丈夫です」と言って避ける若者が多い。自分は関わりたくないと思っている。
- 反原発の宣伝をしても無反応の人が多く。原発問題は自分には関係ないという感じ。マスクに問題があるのか、こちらの取り組みにも問題があるのか。
- 岩手県で、小児医療無料化の署名が盛んに集まった例もある。人々の心に響くも、そしてマスクコト人形を使うなどの工夫で成果も期待できる。
- 栃木県で教員をしいているが、生徒たちは、活動をして成果をあげた経験が少ない。成功体験が少ない。
- 今の若者はネットを中心に生活している。そのことをもっと考えるべき。署名もネットです時代だ。
- 多くの人が労働者としての意識や自覚を持つべき。労使対等の原則などもしっかり知っておくべき。
- ぜひ、若い人をこの場に連れてきて本音を聞きたいものだ。

—文責（設楽春樹）—